

書牘卷之一（二 往信）

歳末賀状

一筆申上候、寒冷之  
節ニ候所、益御機嫌能  
珍重之至ニ存候、然ハ、  
歳末の御祝儀とし  
て、鴨一番ひ進呈致し  
候、御受納下され候ハ、  
大慶爾に存候、おし詰  
り多端ニ付、略儀な可か  
ら書中を以て斯の  
如くに候、謹言、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。

書牘卷之一（二 返信）

御紙上披見、仰の如

く、寒冷爾に候へとも、弥御

堅固珍重爾に存候、歳

末之御祝儀として、見

事の鴨一番ひ、御贈

下され、御念入之段、有

かたく受納いたし候、

猶御迎年之御営

み専要爾に存候、以上、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。